

②2021年度各委員会事業計画(案)

2021年度 総務委員会事業計画書(案)

総務委員会

委員長 廣瀬 英孝

1. 事業方針

「次世代へ繋ぐ組織運営」

一般社団法人もとみや青年会議所は、郷土を愛し、理想に燃え、未来の創造を目指す若者が集い、明るい豊かな社会の実現に向けて、常に新しい時代に適した事業を展開することで、南達の発展に寄与して参りました。そして2020年、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、私たちの生活様式は一変し、青年会議所の活動・運動にも多大な影響を及ぼしました。そんな激動の時代の中、当青年会議所は35周年を迎えます。35周年という節目と、コロナ禍という大きな岐路にあるこの時期に、もう一度、青年会議所の組織運営を見直す必要があると考えます。私たち総務委員会は、1年を通し、コロナ禍だからこそ定着しつつあるWEBを活用した会議など、より効率の良い方法を追求しながらも、35年間、諸先輩方が培ってこられた厳正な組織運営を違えることなく実践して参ります。

組織として最大限の力を発揮するためには組織が示す方向性を会員一人ひとりが理解し、それぞれの活動状況を全員で共有することが必要です。総務委員会では、それぞれの活動状況や外部からの情報を、メールやSNSなどを通じて会員全員が共有できる環境を整えます。また、ホームページやSNSを活用し、当青年会議所の活動を定期的に外部へ発信します。組織の認知度を高め、対外に広がりを持ち、発展し続けていくことで、持続可能な組織づくりを目指します。

各種会議においては、当青年会議所の定款や規則に基づいた厳格な会議運営を心掛けます。そして建設的な議論がスムーズに行われる場を構築するために、迅速かつ正確な資料の作成に努めます。

35周年の節目を迎えるにあたり、記念式典及び祝賀会を開催し、記念誌を発行します。地域の発展に寄与されてきた諸先輩方に敬意を表する場となるように、厳粛な式典及び祝賀会を執り行います。そして記念誌では、30周年からの5年間の活動を振り返り、更には、当青年会議所の歴史を紐解くことで創立当時の想いに触れ、その想いを後の世代に伝えます。

この1年を通して、次の40周年に向けて組織運営の方向性を定め、次世代へ繋げる組織づくりができるように、総務委員会一丸となって取り組んで参ります。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

2. 事業計画

- ① 総会並びに理事会、例会等の諸会議の設営または運営
- ② 新年会、チャーターナイト、さよなら例会及び卒業式の企画及び運営
- ③ 会員名簿を完備し、会員手帳の作成
- ④ 事務局内 PC のデータ管理及びメール確認
- ⑤ ホームページや SNS を活用した情報の発信及び収集並びに LOM 情報の更新作業
- ⑥ 日本青年会議所、東北地区協議会、ブロック協議会及び各地青年会議所との連絡調整
- ⑦ 理事会並びに総会・臨時総会等の議事録の作成
- ⑧ 委員会事業に関する予算、決算の指導と通帳管理
- ⑨ 青年会議所活動の対外的情報発信のための報道関係への連絡・調整
- ⑩ 対外紙及び周年記念誌の発行
- ⑪ 35周年記念式典に関する事業及び祝賀会に関する事業
- ⑫ 公益目的事業に関する事業及びSDGsに関わる事業
- ⑬ 次世代へ繋ぐ組織づくり事業

事業名	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
1月通常総会	9,400	0	9,400
新年会	15,000	10,000	25,000
35周年記念式典 リハーサル	44,000	0	44,000
35周年記念式典	101,000	446,000	547,000
35周年祝賀会	0	1,784,000	1,784,000
35周年記念誌	440,000	0	440,000
9月臨時総会	0	0	0
チャーターナイト メモリアルパーティー	10,000	10,000	20,000
対外紙(広報紙)	230,000	0	230,000
さよなら例会・卒業式	90,000	40,000	130,000
ホームページ	190,000	0	190,000
合計	1,129,400	2,290,000	3,419,400

2021年度 Bridge of heart委員会年間事業計画書(案)

Bridge of heart委員会

委員長 國崎 雅樹

1. 事業方針

「地域を想い、人と人をつなげる運動の輪」

本年度、一般社団法人もとみや青年会議所は設立35周年を迎えます。35周年を迎えることができたのは長年ご尽力頂いた先輩諸兄及び関係諸団体、地域の皆様のご支援、ご協力があったからだと確信しております。そしてその連綿と受け継がれた流れがあったからこそ今の私たち現役メンバーがいるのです。

新型コロナウイルスを起因とするパンデミックは、人類のあらゆる尊厳を脅かし、世界規模で社会的、経済的、そして政治的危機を引き起こしながら、依然として私たちの生活に甚大な影響を与えています。一般社団法人もとみや青年会議所もまた、その活動に大きな影響を受け、日々、生命の安全と経済の再生という難しい選択を突きつけられました。だからこそ先輩諸兄から受け継いだまちづくりと人づくりのJC運動を途切れないようにするために、改めて青年会議所の本来の姿を明確にして、行動していくことが求められていると信じています。本年度、当委員会は地域を思う気持ちを地域住民と共感し、まちの魅力を発信していきます。コロナウイルスによって離れてしまった人と人との距離を幅広い世代の方々と共に地域を想い、人と人をつなげる運動の輪を広げる事業を行います。

国際事業に取り組む際、私たちに大きく立ちはだかるのが言語の問題です。世界で最も広く使われている英語と我が国固有の言語である日本語とは、他の言語に比べ、言語構造が最も離れているとの研究があります。すなわち、英語圏の人々にとって日本語は最も身につけがたく、私たち日本人にとって英語は最も身につけがたい言語なのです。日本人は日本語が主要言語であるからと言って、いつまでもそのことに甘んじていては、日本が世界から取り残されることになってしまいます。日本人は誰しも義務教育や高等教育において英語の勉強をしています。国内において英語を習ったことがないという日本人はほとんどいません。それにもかかわらず、英語を使用できない、英語を扱うことに強い抵抗感を持っている日本人があまりにも多いのが現状です。

メディアリテラシーに関しても、現実が刻々と変化することを理解したうえで学び続ける必要があります。ウイルスによって人の往来が難しくなった今、他国との連携を図ることは難しくなったかのように思われますが、実際には技術的な発達によりオンラインを用いて世界とつながることは容易になりました。コロナ禍だから国際交流は難しいのではなく、コロナ禍だからこそ、逆に世界との壁がなくなりつつあることを認識し、2021年も引き続き英国との国際交流を続けていきたいと考えております。

2021年卒業の学生の就職内定率は88.7%と低い水準を推移しています。一般社団法人もとみや青年会議所の組織及び10年後、20年後の地域の未来を見据え、地域におけるコロナウイルスによる就職内定率の低下に対する対策が急務です。高校生においても受験のための答えがある時代の教育から、探究を取り入れた答えのない時代の教育への変化が必要なのです。一般社団法人もとみや青年会議所では本年度も高校生の就職支援としての事業を行っていきたいと考えております。

最後に、目に見えないウイルスの影響で人と人との距離が離れてしまっている中でも、我々が地域の人々の心の架け橋となる1年間にして参りますので皆様ご協力よろしくお願い致します。

2. 事業計画

- ① 人と人の心を繋ぐまちづくり事業
- ② 地域を想うひとづくり事業
- ③ 地域愛を育む35周年事業
- ④ 公益目的事業に関する事業及びSDGsに関する事業
- ⑤ 本宮高模擬面接会

事業名(仮)	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
6月 本宮高校模擬面接会	0	0	0
9、10月 英国との国際交流事業	500,000	0	500,000
10月 地域を育み、 人と人の心を繋ぐ 35周年記念事業	500,000	1,500,000	2,000,000
合計	1,000,000	1,500,000	2,500,000

2021年度 会員拡大特別委員会事業計画書(案)

Passion 委員会

委員長 國分 久徳

1. 事業方針

「 Personality color 」

東日本大震災から10年の年月が流れようとする今、日本社会では人口減少に歯止めがかからず、そして新型コロナウイルスの世界的蔓延により、新しい生活様式を基軸に暮らしを再構築し、対面対人関係に注意を払い生きています。地域を思い心の豊かさを伝え、人を繋ぐ必要があると考えます。

Why do you do public utilities? 何故、公益事業行うのか。何故、会員が必要なのか。会員拡大に於いて最も重要なポイントであると考えます。ポイントを押さえ入会したならば、きっとそのメンバーは地域にとってかけがえのない人材であり、そのメンバーの成長はメンバー企業の成長であり、地域の成長に大きく寄与します。想いを伝え、人材発掘してまいります。

麻の中の蓬ということわざがあります。善良な人と交わっていれば、感化され自然に善人になれるという喩えです。私自身、青年会議所に入会し自分のエリア・バリアを超え大切な仲間ができ、かけがえの無い存在となっています。経験豊かなOBや企業家と繋がる機会もまた青年会議所の魅力です。青年会議所の活動・運動には、女性の会員拡大も急務と考えます。ジェンダーの平等は日本が抱える社会課題であり、女の目線や感覚は、メンバーに知恵を与え意識高揚に繋がります。日本青年会議所の理念を、新入会員と共に共有し、メンバー一人ひとりのアップデートする機会が必要であり、それぞれのメンバーが気づきを得られる機会を創出します。

メンバーには、それぞれ個性 Personality があり、そして色 color がある。コロナ禍がもたらす生活環境の変化は千差万別であり、どの様な色になるか輝くかは、自分次第です。日々を明るく情熱をもって活動して参りましょう。一年間よろしくお願い申し上げます。

2. 事業計画

①JCIの魅力を共有する会員拡大事業

②その他、上記以外の公益目的に関する事業

事業名	一般会計繰入金	その他収入予算	事業予算
4月 <u>地域から日本を変えるのは俺たちだ講演会</u>	185,000	0	185,000
8月 <u>歴代女性理事長から学ぶJCIのススメ事業</u>	200,000	0	200,000
合計	385,000	0	385,000